

みんな、
外であそぼうよ

スマイルキッズパーク・記念樹の杜屋外あそび場で
元気に遊ぶ子ども

12.1%

これは平成26年度の本宮市の小学生（1年から6年）のうち、肥満傾向が見られる子どもの割合です

事

実、本宮市の子どもたち（小学校1年生から6年生）の肥満傾向が高まっています。

最新の学校保健統計調査（平成26年度）では、市内小学校全校の受検者1,767人のうち約12.1%が肥満傾向（標準体重を20%以上上回っている）にあることがわかりました。

主な要因は東日本大震災と原発事故であると言われています。発災当初、子どもたちの屋外での活動が制限され外で遊ぶ機会が減りました。

震災から4年余りが経過した今、除染の進行や風評被害の払拭、ホールボディカウンターやガラスバッジ・甲状

腺検査などの健康管理により屋外で遊ぶ機会は徐々に回復してきたものの、運動不足が習慣化してきている可能性が指摘されています。

下のグラフは、小学生を対象とした全体に占める肥満傾向の割合を示しています。黒線が本宮市の小学生、青線が全国平均を示しています。東北地方・福島県は、冬に雪が積もるため、もとも肥満傾向の子が多いと言われていますが、グラフを見ると、震災以降本宮市の小学生の肥満傾向が徐々に高くなってきていることが読み取れます。また、運動不足による体力低下も懸念されています。

外遊びの機会を増やし、肥満と体力低下を解消するためには、これからどうすれば良いのでしょうか。ここではそのための取り組みについて考えていきます。

	22年度	24年度	25年度	26年度
7歳	6.86 ^⑫	9.89 ^①	8.82 ^③	9.64 ^①
9歳	11.16 ^⑧	13.97 ^①	12.76 ^②	15.07 ^①
11歳	13.77 ^②	14.53 ^②	14.01 ^②	14.43 ^①

福島県の肥満傾向の割合（%）。丸数字は都道府県別順位

小学生の肥満傾向の推移

